



もくせい み 木星を見よう!

5月の午後8時ごろ南の空に輝くひとときわ明るい星が見えています。太陽の周りを回る惑星のひとつ、木星です。今年は7月初めごろまで見えます。

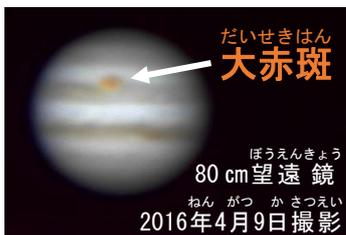


もくせい み 木星はどこに見える?

5月中旬の午後8時ごろ、木星は南の空の高くで一番明るく輝いています。今年はおとめ座の1等星スピカのそばにあり、色は黄色っぽく、明るさは-2.4等です。7月の初めごろまで、一番星として南西に見えます。

地球から見て、木星は誕生日の12星座のなかを一年でひとつずつ動きます。去年はしし座、今年はおとめ座にあります。

もくせい 木星について



木星は太陽系最大の惑星で直径は地球の約11倍、重さは地球の約318倍です。固い地面がなく、ガスでできています。



望遠鏡では、茶色のしま模様の他に、大赤斑という目玉のような模様が見えることもあります。

木星の周りを回る衛星は60個以上あり、天文学者のガリレオが発見した4つの衛星をガリレオ衛星と呼びます。

わくせい 惑星とは



惑星は太陽のように自ら光る星(恒星)の周りを回る星です。恒星の光を反射して輝きます。

太陽の周りを回る8個の惑星を太陽系の惑星と呼びます。それぞれ、岩石やガスや氷でできています。

望遠鏡で木星を見よう! 星空観望会

【日時】 毎週 土・日

19:00 ~ 20:30

※ 雨天・曇天の場合は中止。

【参加料】 100円 【定員】 50名

※ 要予約。1ヶ月前から予約できます。



天文台からのお知らせ

大型望遠鏡のお休み期間
5月30日(火)~7月14日(金)

星空観望会は
小型望遠鏡を
使います。

